

第15章 福島県立美術館

第1節 概 要

開館9年目を迎えた福島県立美術館は、さまざまなテーマによる展覧会をはじめ、各種講座等の普及事業を開催し、さらに、美術の情報センターとしての機能の充実を図ってきた。

また、美術品の収集・保存とともに広範な調査研究活動をすすめて、成果の蓄積に努力してきた。

当年度の美術館活動の概要は、次のとおりである。

1 美術館運営協議会

委員を次の方々へ委嘱し、1回開催した。

(1) 委 員

- 境 野 啓 二 福島県中学校教育研究会長
(4.10. 1～)
- 片 岡 義 和 福島県高等学校教育研究会長
(4.10. 1～)
- 渡 辺 良 雄 福島県芸術文化団体連合会長
(4.10. 1～)
- 佐 藤 昌 志 福島県文化センター館長
(4.10. 1～)
- 大 野 雅 人 福島県議会議員 (5. 8. 7～)
- 阿 部 カ ネ 福島県市町村教育委員会連絡協議会長
(4.10. 1～)
- 川 田 順 福島大学教育学部長 (4.10. 1～)
- 佐 藤 光 元福島県教育長 (4.10. 1～)
- 匠 秀 夫 茨城県近代美術館長 (4.10. 1～)
- 佐々木 恵 寿 福島県青少年団体連絡協議会副会長
(4. 7.16～)

(2) 協議会の開催

平成6年2月24日

- ・平成5年度事業実績について
- ・平成6年度予算の概要について
- ・平成6年度事業計画の概要について
- ・福島県立美術館の運営について

2 他館等との連携

県内外の博物館施設および連絡協議会等との連携を図り、運営、企画展、教育普及、調査研究等に関する情報交換ならびに研修をすすめた。

(1) 加盟団体

- ・全国美術館会議 (理事)
- ・美術館連絡協議会 (理事)
- ・日本博物館協会 (会員)
- ・日本博物館協会東北支部 (会員)
- ・東北地区博物館協会 (会員)
- ・福島県博物館連絡協議会 (理事)

(2) 研修受け入れ

- ・博物館学実習 7月7日～7月12日 (実習生5名)

第2節 美術品の収集・保存事業

美術品等の情報収集をすすめ、購入および企画展出品作品の寄贈を受けるなど収蔵品を充実した。また、収蔵品や資料の保全を図り、他館への貸し出しについても協力した。

1 収蔵品点数一覧

(平成6年3月31日現在)

種 別	購入点数	受贈点数	移管点数	合 計
海外(絵画・版画・彫刻)	125	0	0	125
日 本 画	47	60	115	222
洋 画	62	92	98	252
版 画	82	432	40	554
彫 刻	1	5	48	54
工 芸	2	5	33	40
書	0	1	36	37
下 絵 等	0	14	11	25
合 計	319	599	381	1,309

2 収集評価委員会

委員を次の方々へ委嘱し、1回開催した。

- 内 山 武 夫 京都国立美術館学芸課長
(H 4. 4. 1～)
- 桑 原 住 雄 武蔵野美術大学教術
(S 55. 4. 1～)
- 佐 藤 光 元福島県教育長 (S 55. 4. 1～)
- 原 田 実 平塚市美術館長 (H 4. 4. 1～)
- 三 木 多 門 徳島県立近代美術館長
(S 55. 4. 1～)

平成6年2月18日

- ・購入候補作品について
- ・受贈作品について